

特定非営利活動法人日本栄養改善学会

NPO第22期5月度理事会議事録

I. 日時:2025年5月18日(日)14:00~16:30

II. 場所:オンライン会議

III. 出席者数:理事総数23名 出席理事数23名

IV. 出席理事氏名:塚原丘美(理事長・議長)、上西一弘(副理事長)、荒井裕介、稲山貴代、太田雅規、小原仁、小山田正人、木戸慎介、木村典代、小切間美保、小玉智章、酒井徹、下浦佳之、竹内弘幸、竹林純、武見ゆかり、中出美代、長幡友実、名和田清子、三好美紀、村山伸子、由田克士、野末みほ(委任出席)

出席監事氏名:青山敏明

その他の出席者:石見佳子(第72回学術総会会長)、高松伸枝(第73回学術総会会長)

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、小山田正人理事及び酒井徹理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※( )は提案説明者

◆審議事項

【I. NPO 第23期事業計画案および予算案の概要】

1. NPO 第23期事業計画案および予算案の概要(塚原理事長)
2. 第71回学術総会の余剰金の取り扱いについて(木戸財務担当理事)
3. 学会事務局業務委託にかかる費用について(木戸財務担当理事)

【II. 庶務関連事項】

1. 会員の休会申請について(荒井庶務担当理事)
2. 2025年度通常総会・評議員会の準備(荒井庶務担当理事)

【III. 学術関連事項】

1. 2025年度功労賞・学会賞・奨励賞(塚原理事長)

◆報告事項

【I. 庶務関連事項】

1. 名誉会員・終身会員推薦委員会の報告(塚原理事長)
2. 役員の異動(荒井庶務担当理事)
3. 支部会別・都道府県別会員の状況(荒井庶務担当理事)
4. 協力会員の異動(荒井庶務担当理事)
5. 今後の会議・活動予定(荒井庶務担当理事)

【II. 財務関連事項】

1. NPO 第22期経費執行状況(木戸財務担当理事)
2. 第71回学術総会の収支報告(木戸財務担当理事)

【III. 編集関連事項】

1. 編集委員会報告(太田編集担当理事)

【IV. 学術関連事項】

1. 第72回学術総会の準備状況について(石見第72回学術総会会長)
2. 第72回学術総会本部企画(稲山学術担当理事)
3. 第73回学術総会の準備状況について(高松第73回学術総会会長)
4. 第74回学術総会の準備状況について(小山田理事、小原理事)

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業(小原広報担当理事)
2. JSND メールニュース事業(小原広報担当理事)

## 【VI.国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告(三好国際担当理事)

## 【VII.支部会報告】

1. 東北支部会(小原理事・支部長)
2. 関東・甲信越支部会(木村理事・支部長)
3. 北陸支部会(竹内理事)
4. 東海支部会(塚原理事長)
5. 近畿支部会(小切間理事)
6. 中国支部会(名和田理事)

## 【VIII.関連学協会の報告】

1. 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会および学術総会報告(塚原理事長)
2. 日本栄養学学術連合報告(塚原理事長)
3. 一般社団法人健康な食事・食環境コンソーシアム理事推薦依頼の対応(塚原理事長)

## VII. 議事の経過の概要及び議決の結果

### ◆審議事項

#### 【I. NPO 第23期事業計画案および予算案の概要】

1. NPO 第23期事業計画案および予算案の概要…事務局業務委託事業者選定経過について、資料に基づき説明があり、審査の結果、レタープレス株式会社が適格と判断して業務委託先に決定したことの報告があった。9月の通常総会にて業者決定の報告をする。今後、事務局移行に向けて事業者と業務内容の細部な面の打ち合わせと、費用面の確認等を進め、契約の締結を行う予定である。今後の手続きも、理事長、副理事長、庶務及び財務担当理事に一任することが承認された。23期の事業計画案は、栄養学雑誌サプリメント号の刊行(「日本の食事」に関する研究の軌跡と展望-栄養学雑誌全80巻のレビュー)と、事務局業務委託にあわせて会員管理ページも含めた学会ホームページをリニューアルすることが提案され、承認された。
2. 第71回学術総会の余剰金の取り扱いについて…定款に基づき次期に繰り越すことを原則としているが、学会員に広く還元する活用をするため、75周年記念事業基金とする提案があり、承認された。全額か一部の金額にするかについては、全額を事業基金として活用したほうがよいと考えられるが、税理士に相談したほうがよいとの意見があった。
3. 学会事務局業務委託にかかる費用について…事務局業務委託費にあわせ、当面は現在の事務局も残ることからその経費を計上していることが、資料に基づき説明があった。事務局委託事業者と、業務の細部な面も含めた打ち合わせを進め、見積額の精査を進め、現在の事務局にかかる管理費と同水準となるよう委託内容のスリム化をして経費を抑えることを進めると説明があった。今後少なくとも3年間は、現在の事務局費用に加えて委託分の費用が追加発生することになり、一時的に費用が増大する(3年間で3千万円程度の見込み)ことから、現有の基金を取り崩し活用したいとの提案があり、承認された。

#### 【II. 庶務関連事項】

1. 会員の休会申請について…申請があった正会員1名について説明があり、申請が承認された。休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。
2. 2025年度通常総会・評議員会の準備…準備・会議内容・スケジュール等の計画が資料に基づき説明があり、承認された。総会の事務は事務委託先が担当予定である。事務局委託に伴う会員管理方法変更について、通常総会にて案内をすとの説明があった。

#### 【III. 学術関連事項】

1. 2025年度功労賞・学会賞・奨励賞…5月1日の学会賞等選考委員会の報告を受け、2025年度の受賞者を次のとおり決定した。  
功労賞:該当者なし  
学会賞:該当者なし  
奨励賞:杉本真依子氏、中本晶子氏

## ◆報告事項

以下の報告事項について、事前配付により資料が提供され、担当者から説明があり、すべて了承された。

### 【Ⅰ. 庶務関連事項】

1. 名誉会員・終身会員推薦委員会の報告・・・名誉会員及び終身会員は候補者が決定し、本人に意向確認中であり、次回理事会で提案するとの報告があった。
2. 役員の異動
3. 支部会別・都道府県別会員の状況・・・正会員は減少が続いているが、学生会員の入会者数は昨年度と比べて増加していることが報告された。
4. 協力会員の異動
5. 今後の会議・活動予定

### 【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NPO 第 22 期経費執行状況・・・第 71 回学術総会の決算を反映した 4 月 30 日現在の執行状況について報告があった。
2. 第 71 回学術総会の収支報告・・・第 71 回学術総会の決算報告が資料に基づき説明があり、13,568,785 円の黒字があったことが報告された。

### 【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 編集委員会報告・・・サプリメント号(「日本の食事」に関する研究の軌跡と展望-栄養学雑誌全 80 巻のレビュー-)を準備中であること、論文の審査状況・栄養学雑誌の発刊状況等についての報告があった。

### 【Ⅳ. 学術関連事項】

1. 第 72 回学術総会の準備状況について・・・日程と主要プログラムの説明があり、一般演題は目標を上回る 520 演題の応募があったことの報告があった。関連学協会との共催プログラムは、シンポジウム7件、教育講演 1 件、市民公開講座1件を実施予定と報告があった。市民公開講座の一部として、高校生が示説発表を行うジュニア栄養改善学会を実施することの報告があった。現時点での収支執行状況についても報告があった。理事長より充実したプログラム内容であり、高校生の発表の場は 73 回以降も継続して各地域で実施をお願いしたいとコメントがあった。
2. 第 72 回学術総会本部企画・・・倫理に関する教育講演、食環境整備委員会によるシンポジウムと自由集会、支部会意見交換会、学生会員と若手会員の集いを実施するとの報告があった。
3. 第 73 回学術総会の準備状況について・・・委託業者が決定したこと、構成概要が決定したこと、会場について選定中で今月中に決定する予定であること、アドバイザーとして木戸財務担当理事に会議へ出席いただくこと、会計業務に関して事務局からの説明会を設ける予定であることの報告があった。
4. 第 74 回学術総会の準備状況について・・・北海道支部会と東北支部会で検討を始めており、開催場所は東北地方で開催する予定であることの報告があった。

### 【Ⅴ. 広報関連事項】

1. ホームページ事業
2. JSND メールニュース事業

### 【Ⅵ. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告・・・大韓地域社会栄養学会(KSCN)との日韓シンポジウムは、2025 年 11 月 14 日に開催されること、アメリカ栄養教育行動学会(SNEB)への会員割引についての説明があった。東京栄養サミット2021 のコミットメントへの対応として、第 71 回学術総会での 70 周年記念シンポジウム「栄養学雑誌 80 年の歩みからみた『日本の食事』」の開催、栄養学雑誌サプリメント号の発刊、若手の人材育成として「若手学会発表賞」の創設を日本栄養学学術連合に報告すると資料に基づき説明があった。

### 【Ⅶ. 支部会報告】

1. 東北支部会
2. 関東・甲信越支部会
3. 北陸支部会

4. 東海支部会
5. 近畿支部会
6. 中国支部会

【Ⅷ. 関連学協会の報告】

1. 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会および学術総会報告・・・総会は理事長が出席し、本学会のこれまでの活動と、他学会とのコラボレーションというテーマを踏まえ、第 71 回学術総会での共催シンポジウム等の実施の報告を行ったと説明があった。また協議会世話人代表からの報告として、日本学術会議において、本協議会と日本学術会議との意見交換を行う円卓会議が行われることになったと説明があった。
2. 日本栄養学学術連合報告・・・一般社団法人日本リハビリテーション栄養学会の日本栄養学学術連合の入会が承認されたこと、役員の内任期にかかる規約の改定が行われ、2 期ごとに交代することが明確化されたことの報告があった。本学会は引き続き監事を務めることの説明があった。
3. 一般社団法人健康な食事・食環境コンソーシアム理事推薦依頼の対応・・・本学会から引き続き武見ゆかり氏、赤松利恵氏、串田修氏、黒谷佳代氏を推薦したとの報告があった。

以上